

## 1. 調査報告概要表

作成日平成20年10月27日

[認知症対応型共同生活介護用]

## 【評価実施概要】

事業所番号	2773400409
法人名	社会福祉法人 みささぎ会
事業所名	グループホームつどうホール
所在地	藤井寺市小山3丁目151番地の1 (電話)072-953-0248
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成20年10月9日

【情報提供票より】(平成20年8月31日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成14年11月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤	6人, 非常勤 2人, 常勤換算 8人

## (2) 建物概要

建物構造	RC造り		
	5階建ての	2階～	2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費	11000円/月額 600円/日額	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200円	昼食	450円
	夕食	350円	おやつ	100円
	または1日当たり		円	

## (4) 利用者の概要(平成20年8月31日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 89.1歳	最低	84歳	最高	96歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医真会八尾総合病院、豊川病院、藤本病院、青山病院
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営母体である社会福祉法人みささぎ会は、特養や自立支援センター等の運営で20数年の歴史があります。グループホームつどうホールは同法人特養内の2階に併設されており、9名が暮らしています。津堂地区に設立され、皆が「つどう(集う)」ことを目指してネーミングされました。施設の周辺には田畑もあり、季節の移り変わりが良く分かり、散歩に最適な公園等も多く、恵まれた環境にあります。地域に密着し、地元自治会の祭りでは太鼓、お神輿を迎え入れて楽しんだり、近隣小学校から児童が訪問したり、利用者が授業参観や給食を共にするなどの交流があります。夏には四天王寺の万灯籠にお参りをしています。同法人診療所との連携で、専門医師による診療が受けられ、特養とは行事への参加や喫茶店を利用する等日常的な交流があります。また、法人内に認知症予防自立支援プロジェクトチームが設立され、グループホームの職員、利用者も参加し、1年間の実践で予防支援を始めています。穏やかで明るく、活気が感じられるホームです。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回評価での改善課題は1つで、利用者全員が災害時に2日～3日間は利用できる飲料水や食料品等を、ホーム独自に確保しておくことが求められていました。法人施設全体としては備蓄があり、ホームとしての備蓄は現在準備中です。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者から自己評価、外部評価の意義は職員に説明を行い、職員も理解しています。自己評価の作成は職員からも意見を求め、管理者がまとめています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2～3ヶ月に1回開催し、議事録を作成しています。会議ではホーム側から行事の開催結果や今後の予定、食事の提供内容、地域との交流状況、感染症の予防対策等を説明し、出席者からの意見を聞いています。会議で出された意見については、職員会議で検討し、業務に反映するようにしています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族へは年3回「つどう通信」、年4回「みささぎ新聞」を発行し、送付しています。家族の面会時には口頭で利用者の状況を報告し、月1回は日中の様子や活動内容、夜間の様子を詳細に記したものを家族に確認してもらい、サインを得ています。金銭管理については、個人金銭出納帳に記載し、出納状況については家族の了承、署名をもらっています。玄関脇に意見箱を設けており、また家族会を年2回開催して、要望や意見を聞く機会を設けています。利用者の誕生日や、敬老会、納涼祭には家族を招待したり、運営推進会議には家族の方にも参加してもらって意見を聞き、サービス向上に生かしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	隣の小学校の運動会に招待され、テントの席を用意してもらって観戦したり、1年生の授業参観や給食体験に参加したりしています。また近隣の子どもたちがホームを訪問し、一緒に折り紙やゲームをしたり、おやつを食べたり、利用者が居室に招いて「肩たたき」をしてもらったりと、会話ははずんで交流しています。散歩道の田んぼに植わっている菖蒲の花や育てている野菜を地域の方に頂くこともあります。中学生の職業体験や教員の實習の受け入れも行っています。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『お年寄りにいたわりの心を』を理念として掲げ、『共に生き、共に生活する』を目標に、『やさしさと、いたわりの心』を大切に、地域に根ざしたホームとして、利用者のサービスに努めています。特に、地域の中でその人らしく暮らせるよう、環境作りに日々努めています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は職員会議やカンファレンスなどで共有し、具体化するよう努めています。3月には新年度の事業計画書を用いて、理念共有のための研修会を開催しています。理念を盛り込んだ文書を職員に配布しており、またホーム内にも掲示しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	隣の小学校の運動会に招待され、テントの席を用意してもらって観戦したり、小学1年生の授業参観や給食体験に参加したりしています。また、近隣の子どもたちがホームを訪問して、一緒に折り紙やゲームをしたり、おやつを食べたり、利用者が居室に招いて「肩たたき」をしてもらったりと会話もはずみ、交流を図っています。散歩道の田んぼに植わっている菖蒲の花や、育てている野菜を地域の方からいただくこともあります。中学生の職業体験や教員の實習も受け入れています。昨年より、「藤井寺市民音楽団」がホームへ来訪し、近隣住民や家族も参加して生演奏を楽しむ等、人気があります。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価の意義は、管理者から職員に説明を行い、職員も良く理解しています。前回の外部評価結果は、職員全員に共有されています。自己評価の作成は職員からも意見を求め、管理者がまとめています。改善点については研修報告書に見出しを付け、職員が利用者の写真を撮り、整理する点については改善しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を定めており、会議は2～3ヶ月に1回開催し議事録を作成していません。会議ではホームから、行事の開催結果や今後の予定、食事の提供内容、地域との交流状況、感染症の予防対策等を説明しています。また出席者からの意見を聴取し、会議で出された意見については、職員会議で検討し、業務に反映するようにしています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	疑問点はその都度、市役所の担当課や地域包括支援センター等へ電話や、窓口に出向いて相談しています。市役所に相談した内容については文章にして共有しています。また事故報告書は市に報告し、提出しています。市役所の呼びかけで介護保険事業者の集まりに参加し、質の向上に役立てています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族へは年3回「つどう通信」、年4回「みささぎ新聞」を発行し、送付しています。家族の面会時には口頭で利用者の状況を報告し、月1回日中の様子や活動内容、夜間での様子などを書面に記載し、家族に確認後サインを得ています。小口金銭管理については、個人金銭出納帳を記載し、出納状況について家族の了承、署名をもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関脇に意見箱を設けています。また、家族会を年2回開催して、要望や意見を聞く機会を設けています。利用者の誕生日や、敬老会、納涼祭には家族を招待したり、運営推進会議には家族の方にも参加してもらって意見を聞き、サービス向上に生かしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者との馴染みの関係作りを重視して、異動は最小限になるよう配慮しています。併設の特別養護老人ホームに異動することはありませんが、利用者にはその都度説明し、いつでも会える状況を確認しています。新人職員が入った時には家族の来訪時に紹介しています。また年数回発行の「つどうだより」でも報告しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員が施設内研修、外部研修を受ける機会を多く持てるようにしています。特に「認知症」に関する研修には力を入れています。「感染症」については施設内の看護師から研修を受けています。月2～3回の各種行事も職員が分担し、計画立案から実施まで担当し、仕事の中でトレーニングを重ねています。研修の記録は職員間で共有しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の「介護施設連絡会」へ積極的に参加し、意見反映や情報交換等を行っていますが、市内のグループホーム数が少ないこともあり、グループホーム独自の連絡会は開催していません。また、大阪府下対象のネットワーク「大阪認知症高齢者グループホーム協議会」に加入しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にはホームへ見学に来てもらったり、職員が自宅へ伺ったりすることもあります。入居時の面接などは本人と一緒に来られるよう家族に勧め、見学は何度でも受け入れています。入居希望者をホームの誕生会や祝賀会に招き、馴染んでもらう取り組みをしています。また入居希望者は同法人が実施しているデイサービスやショートステイを利用された折にグループホームへ招き、雰囲気に馴染んでもらうこともあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごす時間が多く、助け合う関係を大切にしています。一緒に過ごす中で、利用者の長い年月の経験からくる、物事の大きな見方、考え方などで癒される事がときどきあります。料理の味付け、ことわざ、漢字の書き方、昔の歌などを教えてもらい、共感する時間を過ごすことが多くあります。ホームには明るさと楽しい雰囲気があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、利用者の希望や意向の把握に努めています。言葉や表情から読み取ったり、確認したりしています。意思疎通の困難な方には、家族や関係者から今までの暮らしぶり、思いや希望・趣味・好きな食べ物等の情報を得て、入居に至るまでの様子について記述しています。ホーム独自のアセスメントシートを作成し、活用しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居前に詳細なアセスメントを行い、利用者、家族の要望を反映した介護計画者書を作成し、利用者及び家族等の署名を得ています。介護計画書は個別ファイルの見やすいページに綴り、職員間で共有しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月毎に計画の見直しを行っています。毎日のケアや利用者の状況、活動内容等を見やすく記録し、利用者の状況の変化が分かりやすくなっています。記録は家族にも定期的に確認してもらっています。計画の見直しは、利用者、家族の意見をもらい、職員全員で話し合い行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人が運営する診療所より毎日看護師の訪問があり、バイタルチェックや状態の把握をしてもらっています。また、医療機関への通院支援も行っています。デイサービスの催し物、演奏会、幼稚園児の訪問、納涼祭、餅つきなどに招かれ、参加しています。併設のデイサービスに友人が来所の際は会いに行ったり、個人の居室に来てもらったりしています。習字ボランティアの受け入れもあり、利用者の作品をリビングに展示しています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設診療所より内科医、精神科医の受診を週3、4回受けられます。また、他科受診についても支援しています。一人ひとりの希望を尊重した支援を行っており、診療結果の報告についても家族の希望に応じています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者が重度化した場合や、退居にあたっての条件を入居契約書に明記し、入居時に説明し了解を得ています。重度化した場合の対応については、早い段階から本人や家族等の意向調整を行い、希望に沿うような援助をしています。終末期ケアをホームで希望される場合は受け入れる方針があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際、プライバシーに関する意識の向上を図るように心がけています。また、日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。誇りやプライバシーには注意を払い、職員の言葉遣いも丁寧です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重し、急がずことなく支援しています。食後部屋で横になる方、テレビを見る方、お盆を丁寧に拭く方など、利用者一人ひとりのペースを見守っています。事業所としての日課はありますが、利用者の意向に合わせて支援し、見守ることにしています。気候や利用者の状態を確認しながら、常に臨機応変に取り組んでいます。利用者が過ごしやすい場所を把握して、家具の配置などにも配慮しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	3食ともホームで調理し、温かい食事を提供しています。利用者はお米とぎや下ごしらえ、味付けや盛り付け等、できることを楽しんでいます。畑で収穫した豆や芋が食卓にのぼることもあります。食材の買い出しには週2、3回利用者と共に出かけています。旬のものを選んで献立が変わることもあります。月1回は好きなメニューを選んでもらって外食に出かけています。職員はゆっくりと食事を採る方の横にさりげなく着きながら声をかけたり、利用者と同じものを味わいながらさりげなくサポートしたりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に1回、週3回の入浴日を設定しています。必要な場合は併設特養の特殊入浴設備の活用など柔軟な対応をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食後の食器運び、お盆拭き、洗濯物たたみ等利用者の力に応じた役割を持ってもらっています。気晴らしとして、喫茶店にコーヒーを飲みに行ったり、散歩、買い物、菜園での野菜収穫等、外出の機会を作っています。室内では書道、手芸、歌詞カードを活用して歌う等の楽しみがあります。職員はボランティアの協力も得ながら、利用者の好みに沿った支援をしています。タバコ、お酒を楽しむ支援もしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺には田園風景が広がり、近隣には小学校と高校があります。つどう神社や古墳もあり、散歩コースとなっています。池に飛来してくる鴨にパンをあげたり、稲の成長を見たりして季節感を味わっています。毎月外出の機会もあって、ドライブやお花見、市民会館の催し物に参加しています。併設特養の喫茶店に出かけて会話を楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム玄関およびエレベーター、総合玄関には鍵をかけていません。利用者は自由にエレベーターを利用し玄関から外へ出ることができます。併設特養やデイサービスセンター等を訪問することもできます。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常災害時に対応する為のマニュアルを作成しています。消防訓練を年2回行っています。災害を想定した避難訓練を、職員と利用者で毎月実施しています。災害時に備えた備蓄は、法人施設全体としては有りますが、ホーム独自のものとしては、検討準備中です。	○	備蓄場所を屋外に工夫するなどして、予想外に発生する災害に備えて、最低限の食料、水などを備蓄する事が求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスについては、施設の管理栄養士のアドバイスを受けてカロリー計算をしたバランスの良い献立です。食事摂取量について毎回確認し、記録をしています。水分摂取量については記録し、毎回食事の折やティータイムの時に水分補給に気をつけ、脱水予防に努めています。食欲のない方には補食を提供するなど配慮しています。リビングの献立表にカロリー計算された数字が毎食、分かりやすく表示されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関脇が応接間になっており、ソファが配置しています。カウンターの棚には利用者の写真や活動に利用する歌詞カードが置かれています。廊下には地域のボランティアによる絵画が飾られて、豊かな雰囲気醸し出しています。生活空間はゆったりと採光も良く、田園風景が眺められます。廊下には椅子が置かれ、定席に座ってくつろぐ姿が見られました。日めくりカレンダーは大きな文字でわかりやすく、日時の把握に役立っています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には車椅子対応のトイレ、洗面所が設置されトイレ利用中は廊下に明かりで表示され状態の把握ができます。部屋の中にはカウンターもあり、家族の写真や自分の作った作品、テレビなどが置かれています。タンスや椅子など馴染みのものを持ち込まれ、思い思いの居室になっています。絨毯や畳の部屋があり、毎日布団を敷いて休む方もいます。また居室でゆっくりと日記を書かれている方もいます。		